

平成29年度 施策評価(案)概要

資料3



評価基準

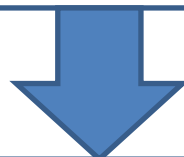
①成果指標等の状況

②施策を構成する事業の進捗状況

③施策に関する社会情勢等の変化

(関連する統計データ, 新たな制度の創設や法改正など国や県の動向・状況変化等)

上記①～③を踏まえ



施策単位で総合的に評価

評価結果

評価	平成29年度評価(案)
◎ : 順調	18施策
○ : 概ね順調	30施策
△ : やや遅れている	3 施策
× : 遅れている	0 施策

特にご意見をいただきたい施策

選定の考え方
(下枠内参照)

生活の質の向上

施策1－2 すべての人の**人権**が尊重されるまちづくりと**男女共同参画**の推進

①, ②

施策1－6 すべての人が**安心**して暮らせる**福祉**の充実

①, ②

施策2－4 **NPO, ボランティア**活動の活性化

①, ②

施策3－5 犯罪のない**安全**で住みよいまちづくり

①, ②

都市の成長

施策5－1 **観光資源**となる魅力の再発見と磨き上げ

①, ②, ③

施策6－1 産学官連携による, **知識創造型産業**の振興

①, ②, ③

選定の考え方

以下の①～③により, 6施策を選定。

- ①これまで「特にご意見をいただきたい施策」として一度も選定していないもの
- ②平成24年12月の基本計画策定後の社会情勢の変化や動きなどに対応したもの
(超高齢社会の到来, 女性の活躍推進, インバウンドの増大, IoT・AIの利活用推進 など)
- ③福岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進(関連交付金事業)に関するもの

施策1-2 すべての人の人権が尊重されるまちづくりと

男女共同参画の推進

施策の方向性

すべての人の人権が尊重される社会の実現に向け、同和問題をはじめ、あらゆる人権問題の解決を図るため、人権教育・啓発に取り組みます。

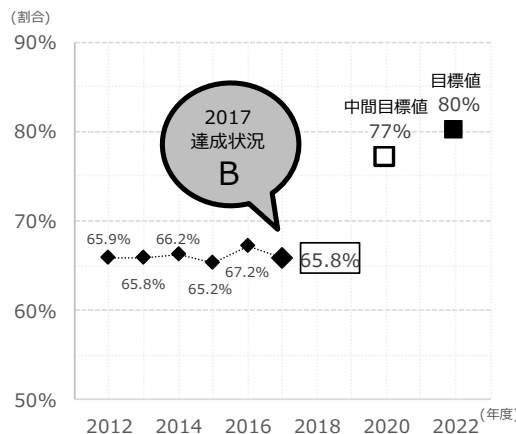
また、男女共同参画意識の浸透を図るため、男性・子ども・若年層を含め、あらゆる人が男女共同参画の必要性を共感できるよう、地域と連携し、啓発活動を推進します。

施策事業の体系

- (1) 人権尊重のまちづくり
- (2) 男女共同参画意識の浸透

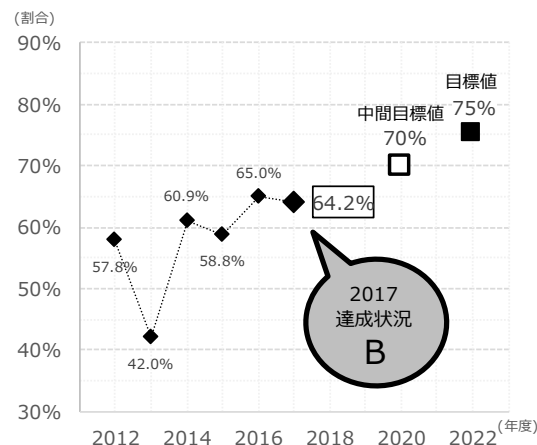
1 成果指標等の動向と分析

指標①
一人ひとりの人権が尊重されていると感じる市民の割合



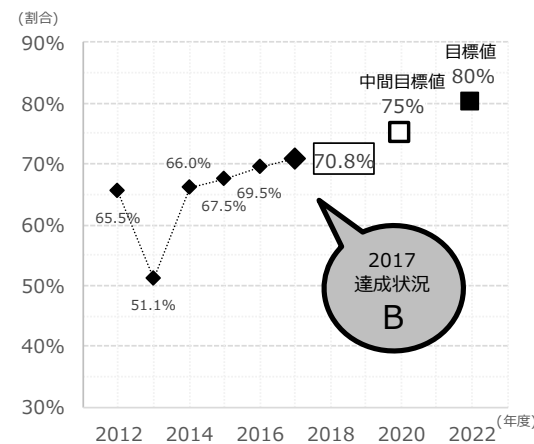
前年度に比べ減少しているが、概ね現状維持の範囲で推移している。
人権問題は多様化・複雑化しているため、新たな人権問題を取り入れた教育・啓発を推進しているが、上昇には至っていない。

指標②-1
男女の固定的な役割分担意識の解消度（男性）



男女の固定的な役割分担意識の解消度がゆるやかな増加傾向となっている。女性の就業率の上昇等、社会経済情勢の変化とともに、福岡市男女共同参画基本計画（第3次）に基づき実施しているあらゆる世代へ向けた啓発の成果によるものと考えられる。

指標②-2
男女の固定的な役割分担意識の解消度（女性）



2 平成29年度の主な取組み(主な進捗状況)

●人権尊重のまちづくり

人権教育・啓発の推進

- ・ハートフルフェスタ福岡の来場者数 H28n：約19,000人 → H29n：約21,000人
- ・北朝鮮人権侵害問題啓発事業 H28n：1回（舞台劇公演）→ H29n：2回（映画上映）
- ・大学生等との協働による「ココロンキャンパス」等の継続実施
- ・「性的マイノリティに関する支援方針」を新たに策定

障がい者理由とする差別解消にむけた取組み

- ・差別の解消を目的とする条例案に関するパブリック・コメントの実施
- ・条例の制定に向けたタウンミーティングの開催
- ・条例案に係る福岡市保健福祉審議会（障がい者保健福祉専門分科会）の審議

●男女共同参画意識の浸透

男女共同参画の意識啓発の推進

- ・中学生向けキャリアデザイン啓発セミナー実施校数（H28n～H30nで全市立中学校で実施） H28n：26校 → H29n：24校
- ・福岡市男女共同参画週間「みんなで参画ウィーク」の取組み実施校区数 H28n：143校区・地区 → H29n：145校区・地区

企業への支援や女性へのキャリアアップ支援を通じた女性の活躍促進

- ・女性活躍に取り組む企業を紹介する「見える化サイト」の登録企業数 H28n：167社 → H29n：223社

3 施策の評価(施策の進捗状況)

○：概ね順調

[参考]前年度
○：概ね順調

施策1-6 すべての人が安心して暮らせる福祉の充実

施策の方向性

高齢になり介護が必要となっても、住み慣れた家庭や地域で安心して暮らせるよう、市と関係機関が連携し、保健・医療・介護・福祉サービスを適切に組み合わせた支援ができるシステムの構築などを進めます。

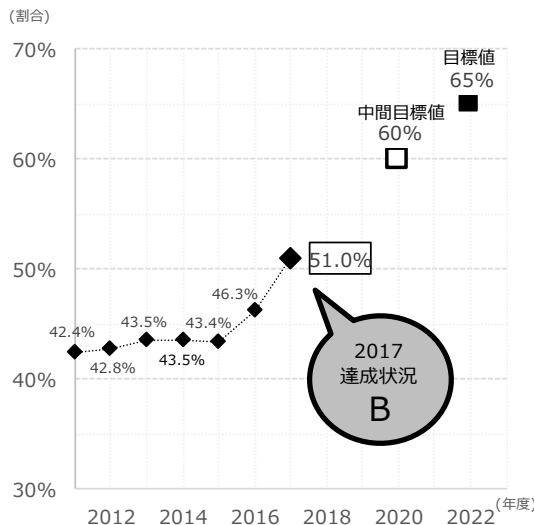
また、障がいのある人の地域での自立と社会参加への支援を充実し、障がいの有無によって分け隔てられないことがない共生社会の実現をめざします。

施策事業の体系

- (1) 地域包括ケアの推進
- (2) 障がい者の自立と社会参加の支援
- (3) 生活の安定の確保など

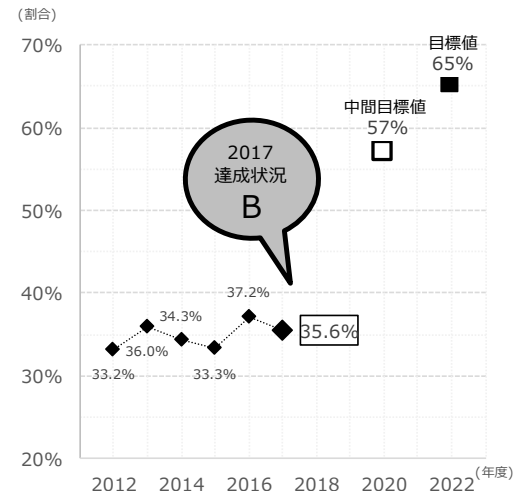
1 成果指標等の動向と分析

指標① 福祉の充実に対する満足度



在宅医療・介護の連携や地域ケア会議の運営、認知症施策、特別養護老人ホーム・地域密着型サービスの整備など、地域包括ケアの推進による高齢者の福祉向上に向けた取り組み等により、指標が順調に推移していると考えられる。

指標② 障がいのある人が暮らしやすいまちだと感じている市民の割合



障がい者の親なき後も見据え、地域生活支援機能強化、障がい者の虐待防止や相談支援体制強化、グループホーム設置促進など、様々な取り組みを行っている。しかし、指標は向上しておらず、今後はより一層、取り組みを進めていく必要がある。

2 平成29年度の主な取組み(主な進捗状況)

●地域包括ケアの推進

地域包括ケアの実現に向けた取組み

- ・医療・介護の専門職間の連携, ICT推進, 生活支援等のインフォーマルサービスの醸成

「地域ケア会議」による地域課題の把握, 対応策の検討

- ・市・区レベルの地域ケア会議の実施回数 H28n: 60回 → H29n: 60回

在宅医療・介護連携の推進

- ・多職種連携研修会の開催回数 H28n: 23回 → H29n: 23回

特別養護老人ホーム建設費助成, 地域密着型サービス事業整備費助成

- ・特別養護老人ホーム整備数 H28n: 5,641人分 → H29n: 5,844人分
- ・認知症高齢者グループホーム整備数 H28n: 1,975人分 → H29n: 2,077人分
- ・小規模多機能型居宅介護及び看護小規模多機能型居宅介護整備数 H28n: 45事業所 → H29n: 51事業所
- ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護整備数 H28n: 10事業所 → H29n: 11事業所

●障がい者の自立と社会参加の支援

障がい者グループホームの設置促進に向けた取組み

- ・グループホーム利用者実績／見込量（1月当たり） H28n: 800／940人 → H29n: 906／1,040人

障がい者の「親なき後」も見据えた地域生活支援機能の強化

- ・24時間の相談体制を整備するとともに, 緊急時受け入れ拠点を一部運用開始

●生活の安定の確保など

生活保護の適正実施と保護受給者の自立支援

- ・生活保護自立支援プログラムによる支援者数 H28n: 2,144人 → H29n: 2,396人

3 施策の評価(施策の進捗状況)

○：概ね順調

[参考]前年度
○：概ね順調

施策2-4 NPO, ボランティア活動の活性化

施策の方向性

市民が市民公益活動への理解を深め、自らがその担い手として自主的・主体的に参加できるよう支援するとともに、NPOの活動が社会で認知・理解され、多くの支援の輪が広がり、新しい公共の担い手として活動できるよう支援し、市民・NPO・行政などの共働による地域課題の解決を推進します。

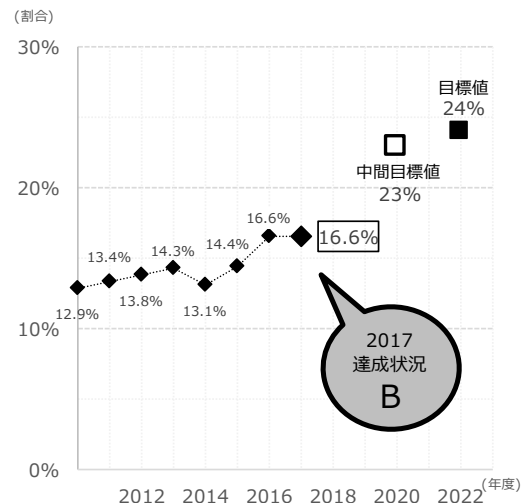
施策事業の体系

- (1) NPO, ボランティア活動の支援
- (2) 共働の推進

1 成果指標等の動向と分析

指標①

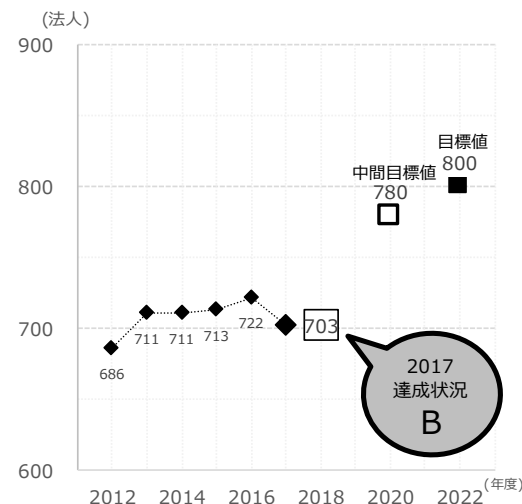
NPO・ボランティア活動などへの参加率
(過去5年間にNPOやボランティア活動などに参加したことがある市民の割合)



NPO・ボランティア活動などへの参加率は、2016年度から2017年度にかけては横ばいとなっているが、長期的には上昇傾向にある。なお、NPO・ボランティア交流センターにおいては、対前年比で「利用者」が約112%、「体験事業参加者」が約118%となるなど、NPO・ボランティア活動への支援は順調に進んでいる。

指標②

市内に事務所を置くNPO法人数



単年度の設立認証法人数は減少傾向で、活動休止等による解散法人数は増加傾向にあることから、市内に事務所を置くNPO法人数は、2017年度、減少に転じた。なお、基盤強化施策として実施している「組織マネジメント等に関する研修」や「税理士による会計・認定個別相談」等への参加法人数は増えており、健全かつ継続した法人運営のための基盤強化に繋がっていると考えられる。

2 平成29年度の主な取組み(主な進捗状況)

●NPO, ボランティア活動の支援

市民のNPO・ボランティア活動への認知・共感を高める取組み

- ・NPO・ボランティア体験事業参加者 H28n: 479人 → H29n: 567人
- ・あすみん利用者数 H28n: 43,439人 → H29n: 48,548人
- ・あすみんホームページ閲覧数 H28n: 192,335回 → H29n: 203,704回
- ・災害ボランティアバス参加者数 H29n: 延べ221人

【参考】平成28年熊本地震におけるNPO・ボランティア活動支援

- ・支援物資の受入ボランティア参加者数 延べ2,209人
- ・NPO等への物資提供回数 延べ174回
- ・災害ボランティアバス参加者数 延べ113人

NPO法人の運営基盤強化への支援

- ・組織マネジメント等に関する研修参加団体数 H28n: 4法人 → H29n: 13法人
- ・税理士による会計・認定個別相談の相談団体数 H28n: 5法人 → H29n: 9法人

NPO活動支援基金の周知による寄付者の拡大

- ・市内全公民館（148館）に広報チラシを配架

●共働の推進

共働事業提案制度の実施

- ・共働事業提案制度提案数 H28n: 6件 → H29n: 4件（うち、3事業を採択）
- ・28年度実施4事業の最終評価を実施
- ・29年度実施5事業の中間評価を実施

3 施策の評価(施策の進捗状況)

○：概ね順調

[参考]前年度
○：概ね順調

施策3-5 犯罪のない安全で住みよいまちづくり

施策の方向性

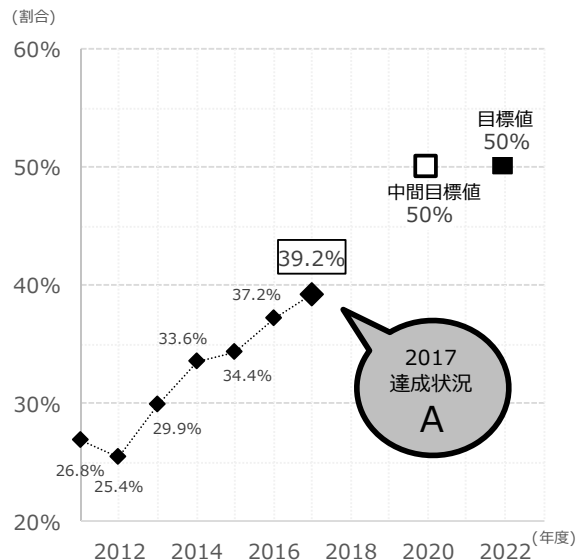
市民や企業など防犯活動への多様な主体の参加を促進し、社会全体で地域の防犯力を高めます。特に性犯罪や少年非行の抑止、飲酒運転撲滅、暴力団排除対策を推進するとともに、関係機関、団体と連携して、防犯情報の提供、防犯カメラの設置促進、危険箇所の改善、まちの美化、防犯性の高い住環境の整備など、安全に配慮した環境づくりを促進します。

施策事業の体系

- (1) 市民の防犯意識の向上と地域の防犯力の強化
- (2) 犯罪が発生しにくい環境づくり
- (3) 暴力団排除対策の推進
- (4) 飲酒運転撲滅への取組み

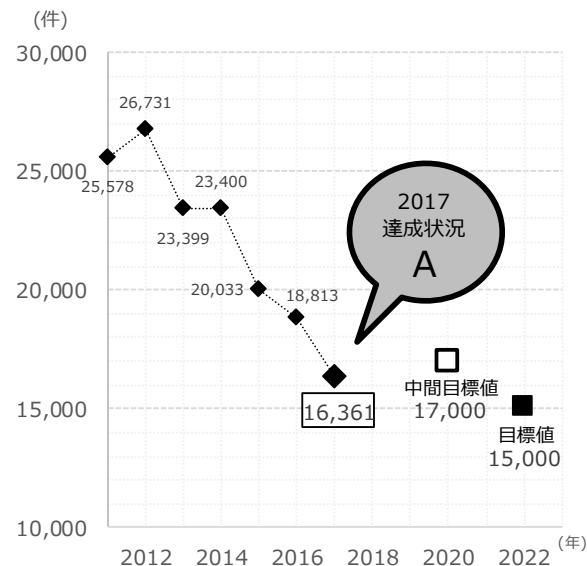
1 成果指標等の動向と分析

指標①
犯罪の少なさに対する満足度



刑法犯認知件数の減少に伴い、犯罪の少なさに対する満足度が上昇している。

指標②
刑法犯認知件数



出前講座等による防犯啓発を推進するとともに、防犯パトロールや児童生徒の見守り活動、防犯カメラの設置等の地域をはじめとする多様な主体の取組みにより、刑法犯認知件数が減少しているものと考えられる。

2 平成29年度の主な取組み(主な進捗状況)

●市民の防犯意識の向上と地域の防犯力の強化

市民の防犯意識の向上に向けた広報啓発等の実施

- ・性犯罪防止出前講座受講者数 H28n : 21回 2,643人 → H29n : 33回 1,840人

地域団体や事業者等による主体的な地域防犯活動への支援

- ・パトロールカー導入校区数 H28n : 99校区 → H29n : 104校区

●犯罪が発生しにくい環境づくり

街頭防犯カメラの設置

- ・街頭防犯カメラ設置台数(累計) H28n : 684台 → H29n : 810台

放置空家の倒壊等被害の防止

- ・法や条例に基づく指導等や、空家の実態調査（H29～H31）などにより放置空家対策を推進

●暴力団排除対策の推進

暴力団排除の機運醸成と公共工事からの暴力団排除

- ・公共工事からの暴力団等排除協議会設置数 H28n : 8件 → H29n : 5件

●飲酒運転撲滅への取組み

飲酒運転撲滅の啓発

- ・交通安全教室等の受講者数 H28n : 744回 99,950人 → H29n : 755回 99,477人
- ・飲酒運転事故件数 H28n : 46件 → H29n : 43件

3 施策の評価(施策の進捗状況)

◎ : 順調

[参考]前年度
◎ : 順調

施策5－1 観光資源となる魅力の再発見と磨き上げ

施策の方向性

福岡市が有する歴史文化資源を市民の財産として保存・整備し、アジアとの交流や祭り、コンサートや観劇、展覧会などのさまざまなイベント、美しい街並み、商業施設、食文化や自然環境などと共に、福岡市の貴重な観光資源として、誰もが親しみやすいストーリー性を付加しながら磨き上げるなど、官民一体となった集客戦略を推進します。

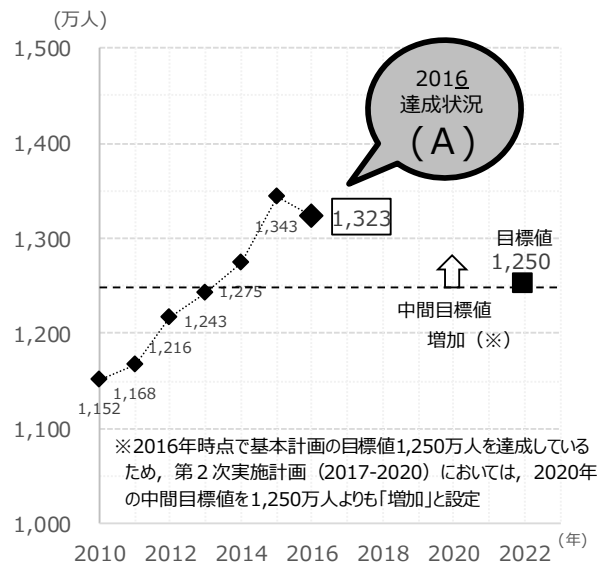
また、福岡都市圏や九州各都市と連携し、それぞれがもつ特色ある観光資源を合わせ、エリアとしての魅力向上を図ります。

施策事業の体系

- (1) 福岡の歴史資源の観光活用
- (2) 魅力の磨き上げ

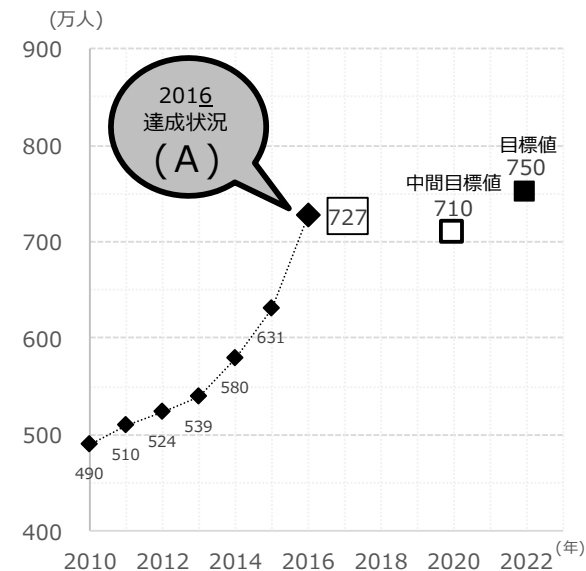
1 成果指標等の動向と分析

指標①
入込観光客数（日帰り）



前年に比べ減少しているが、入込観光客数全体（日帰り＋宿泊）は前年比3.9%増の2,050万人に増加しており、日帰り客から宿泊客にシフトしていると考えられる。

指標②
入込観光客数（宿泊）



航空路線の拡充やホテルの増加、観光・MICEの積極的な誘致・受入などの影響により、大幅な増加となっている。

2 平成29年度の主な取り組み(主な進捗状況)

●福岡の歴史資源の観光活用

博多旧市街プロジェクトの推進

- ・分かりやすいまち歩きモデルコースの設定 H29n：2コース
- ・旧市街統一デザインによる観光案内板等の改修 H29n：29基
- ・出来町公園観光拠点施設の整備公募実施
- ・外国人来館者数（「博多町家」ふるさと館、はかた伝統工芸館、福岡アジア美術館） H28n：26,736人 → H29n：30,323人
- ・「博多町家」ふるさと館及びはかた伝統工芸館の来館者数 H28n：242,447人 → H29n：228,101人

鴻臚館・福岡城への集客向上に向けた取り組み

- ・鴻臚館跡整備基本計画を検討
- ・福岡城南丸多聞櫓の保存修理工事、石垣総合調査及び南丸発掘調査を実施

サイクルツーリズム振興による志賀島周辺の集客促進

- ・志賀島周辺エリア内でのレンタサイクル利用者数 H28n：2,106人 → H29n：4,304人

●魅力の磨き上げ

アジアと創る新たな魅力づくり(アジアンパーティィ)

- ・クリエイティブフェスタの来場者数 H28n：約64,000人 → H29n：約85,000人
- ・アジアフォーカス・福岡国際映画祭来場者数 H28n：40,286人 → H29n：35,553人

集客交流拠点としての美術館の魅力向上

- ・ハード・ソフト両面でのリニューアルを実施（H29.6から改修工事に着工）

博物館機能の歴史文化資源としての価値向上

- ・外国人来館者数（博物館） H28n：5,198人 → H29n：7,938人

【総合戦略の推進(地方創生関連交付金)関連】

博多エリア・インバウンド回遊拠点整備事業

（福岡アジア美術館7階ラウンジ、1階エントランスの改修など） ※詳細は資料5を参照

3 施策の評価(施策の進捗状況)

◎：順調

[参考]前年度

◎：順調

施策6-1 産学官連携による、知識創造型産業の振興

施策の方向性

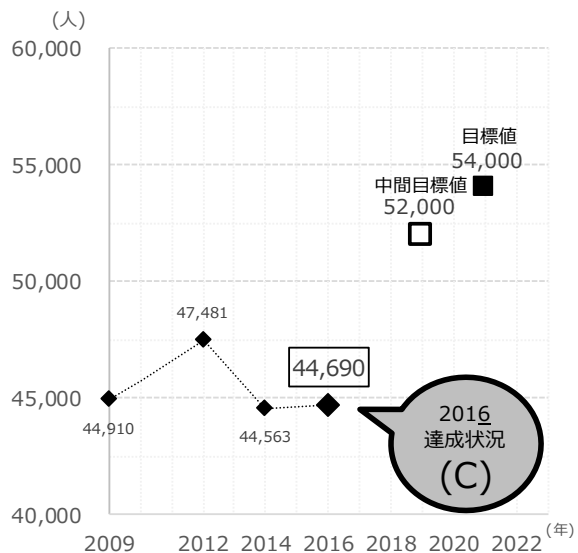
大学や研究機関の集積による豊富な人材・技術シーズを生かし、研究開発機能を強化するとともに、(公財)九州先端科学技術研究所の実用化支援機能を生かしながら産学連携を推進し、ITやナノテクノロジー、ロボット、先端科学技術分野など、新しい時代をリードし、福岡市の将来を支える知識創造型産業の振興・集積を図ります。

施策事業の体系

(1) 知識創造型産業の振興

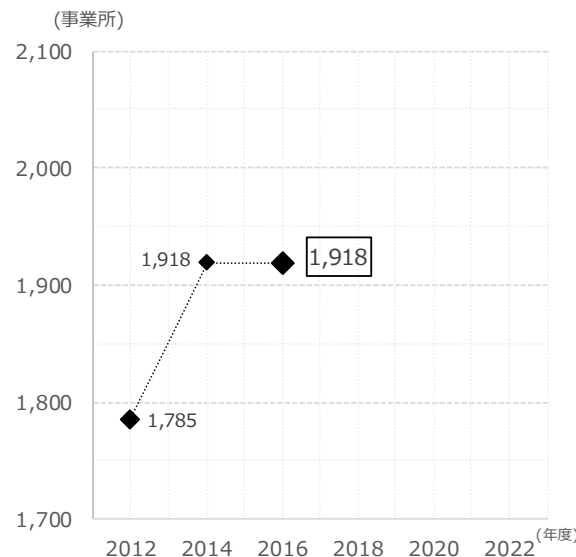
1 成果指標等の動向と分析

指標①
情報通信業の従業者数

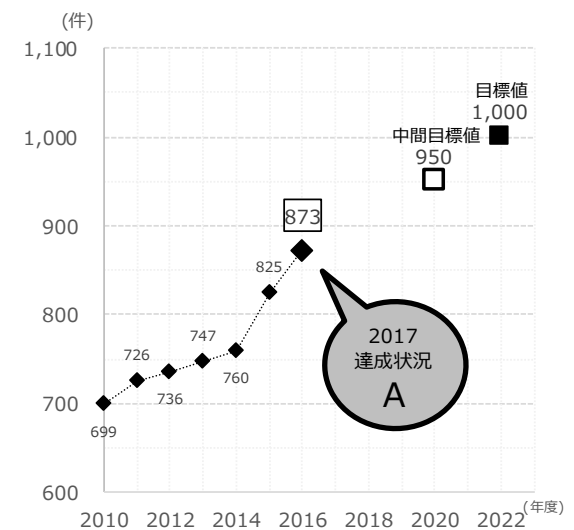


情報通信業の従業者数については、初期値からは減少しているものの、前回調査からは増加しており、事業所数については増加傾向にある。引き続き、IoTに関する事業やスタートアップの支援、クリエイティブ産業の企業誘致の推進に取り組む必要があると考えられる。

指標③
情報通信業の事業所数
〔補完指標〕



指標②
市内大学の民間企業などとの共同研究件数



市内大学の民間企業等との共同研究件数が増加しているのは、大学・民間企業等の双方に産学連携の重要性が広く認識され、その取組みが推進されたものと考えられる。

2 平成29年度の主な取組み(主な進捗状況)

●知識創造型産業の振興

研究開発機能の集積及び科学技術実用化支援機能の活用

- ・ふくおか産学共創コンソーシアムによるセミナー等への参加者数 H29n : 471人
- ・福岡市産学連携交流センター等におけるよろず相談対応件数 H28n : 77件 → H29n : 102件
- ・有機光エレクトロニクス実用化開発センターと企業との共同・受託研究数 H28n : 26件 → H29n : 34件
- ・福岡地域戦略推進協議会（FDC）の部会などによるプロジェクト創出支援

情報通信業の集積を活かしたIoT開発拠点の推進

- ・IoT通信網（Fukuoka City LoRaWAN™）を活用した企業数 H29n : 16社

エネルギー関連産業の振興

- ・水素エネルギー関連のプロジェクト研究会等の新規設置数 H28n : 1件 → H29n : 1件

【総合戦略の推進(地方創生関連交付金)関連】

地方発イノベーション創出環境の構築事業

（企業の技術的課題の解決や大学等の研究成果の産業界への橋渡しを目的とした「ふくおか産学共創コンソーシアム」の設立など）

※詳細は資料5を参照

3 施策の評価(施策の進捗状況)

○：概ね順調

[参考]前年度
○：概ね順調